

令和6年度 大田区立貝塚中学校 自己評価 報告書

令和7年2月25日

○ 本校の概要

本校は、全校生徒479名(5月1日現在)、14学級の学校です。人権尊重の精神と国際人としての資質・能力を身に付け、心豊かで生きる力をもった生徒を育成するため、「進んで学び、広い視野をもった人間を育てる」、「思いやりがあり、責任を重んじる人間を育てる」、「健康で明るく、たくましい人間を育てる」の3つの目標を掲げています。
授業ではICTを活用し、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現しています。また、生徒自身の能力と創造性の伸長を図るため、「体育祭」「若木祭」などの行事は生徒中心に実施しています。生徒が活躍する場を増やすよう、教職員で力を合わせて取り組んでいます。この中から助け合いの精神と粘り強い取り組み姿勢が育っています。そして、「歌声の響く学校」を目指します。
PTAによる「部活動見守り」や「朝の挨拶運動」など、スクールサポート員による「学校の環境整備」や「講師派遣」など、地域の学校として保護者・地域の皆様から多大なご協力をいただいています。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
								評価	人数	コメント
生予個 き測別 力難標 をな1 育未成 来社来 社会 すを創 造的 的に	社会の様々な課題をな1育未成来社来社会すを創造的に	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。 ②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。 ③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。 ④「思考力・判断力・表現力」育成を目指し、生徒の自主的自発的な活動を取り入れた授業を実施する。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3 4 4 4	4:90%以上 3:80%以上 2:60%以上 1:60%未満	3 3 3 1	①理科・技術科・美術科・数学科を中心に教科横断的にSTEAM教育等を進めています。 ②学校内外の活動で、生徒自身で調べ、考え、周りの仲間と決定し、行動する力を養っています。 ③一人一台端末を活用した学習のなかで、総合の時間などを活用し情報活用能力の育成を図っています。 ④将来の予測が困難な時代において生徒達が自分の考えを持ち、判断し、表現できるように、学校内の様々な活動で自分を表現できる活動を増やして「生きる力」を育てています。	A	5	・PC活用など資料により理解できました。 ・都度変化をする社会に対応するのは難しいことだと認識しています。引き続き指導ください。
								B	1	
								C	0	
								D	1	
お世個 お界別 た目標 をつ 担な2 うが 人材 を際 育都 成市 しす	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めることともに、我が国や郷土の伝統文化に融れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を育成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。 ②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。 ③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4 3 2	4:90%以上 3:80%以上 2:60%以上 1:60%未満	3 3 0	①外国語教育指導員と英語科の教員で英語を使った授業を積極的に進め、英語力やコミュニケーション力の向上を進めています。 ②自国の文化や産業を授業や校外学習などで学ぶことから「我が国と郷土を愛する心」を養いながら、相手を理解し尊重する心を育てる授業を行っています。 ③地球規模の課題としてSDGsの授業も取り組み、地球規模の課題にも取り組んでいます。	A	4	・グローバル化の進捗は我が国の課題であるとともに他国に負けない力を培っていききたいと考えます。 ・保護者評価を拝見していないので評価基準が明確でないですが、先生方の評価を尊重します。
								B	2	
								C	0	
								D	1	
た一個 人別 の目 基と標 礎り3 がな 個性 力と能 育力 成を し発 揮す る	児童・生徒が豊かな人生を生き抜く上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通して継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。 ②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに確かな学力の育成を図っている。 ③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。 ④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。 ⑤定期考査前の質問教室や放課後補習を実施する。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3 4 4 4 4	4:90%以上 3:80%以上 2:60%以上 1:60%未満	3 3 3 0 0	①全校体制で「特別の教科 道徳」の内容を検討し、豊かな情操や道徳心を育んでいます。 ②毎時間の授業のなかで、生徒が困っている様子があれば声をかけて、助言を行うように心がけています。 ③体育の授業を通して、運動に親しみ資質や能力を育てています。また、食育教育も給食を通して進めています。 ④小中一貫教育の日に小学校の先生と情報を共有して、9年間指導していけるように進めています。 ⑤普段の様子や定期考査・学力調査などの結果を分析して、分かりやすい授業を各教科で行っています。補習なども定期考査前には行っていますので生徒への呼びかけも継続していきます。	A	5	・カウンセリングについては本校も学びたい分野です。とても参考になります。 ・生徒一人ひとりへの指導は時間もかなり大変なことと思いますが、一番効果があるものと思います。引き続きよろしくお願ひします。
								B	2	
								C	0	
								D	0	
								D	0	
学個 校別 力目 標 教4 師力 を向 上さ せま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。 ②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。 ③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4 4 2	4:90%以上 3:80%以上 2:60%以上 1:60%未満	3 3 1	①生徒一人ひとりの特性を考え、可能性を導くよう学校生活の中で指導しています。 ②「ものづくりのまち」である大田区との連携を推進し、地域と関わり、体験や発表など特色を生かした活動を行っています。 ③教員が「生徒に向き合う時間の確保」を目指し、業務の効率化を進めています。	A	4	・先生方の日々の努力に敬意を表します。 ・新任の先生方を存じていないので仕方ないですが、学校に同僚にごあいさつされる先生方が少ないと思います。
								B	2	
								C	1	
								D	0	
た自個 め別 の目 学し 標 びく5 をい き援 いし きま す生 きる	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整え、相談機能の充実を図ること、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。 ②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。 ③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3 4 4	4:90%以上 3:80%以上 2:60%以上 1:60%未満	3 3 0	①インクルーシブ教育の推進のために、登校支援員や学校特別補助員などとともに、多くの生徒が学校生活を過ごしやすいよう取り組んでいます。 ②定期的「大田区立貝塚中学校いじめ防止基本方針」を全職員で確認して、いじめを発生させないよう取り組んでいます。 ③気になる生徒に対しては校内の全教職員で情報を共有して、全校で解決策を考えていく体制を作っています。	A	5	・インクルーシブ教育の推進には、教育現場へのさらなるリソースの供給、教育システム全体の見直しを含むことから、個別の学校現場での努力のみならず、国や都レベルの調整を期待したい。 ・特別支援教育について考えていただきたい事例がたくさんあります。
								B	2	
								C	0	
								D	0	
安柔個 心軟別 なで 目標 創育 造6 環的 な学 習空 間と 安全 ・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。 ②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。 ③ICT環境を整え、授業で積極的に一人一台端末を活用した主体的・対話的で深い学びの授業を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4 4 4	4:90%以上 3:80%以上 2:60%以上 1:60%未満	4 4 0	①過ごしやすいく貝塚中学校の地域のなかで、生徒の安全を第一に安全・安心な学校づくりを進めています。保護者・地域・施設利用団体の皆様にも生徒の安全を第一に学校の使用について取り組んでいただいております。ありがとうございます。 ②毎月行われている避難訓練の際に、災害以外の危険についても伝え、危険や災害に対する教育を行っています。 ③ICT推進部を中心に一人一台端末や電子黒板等の使いやすい環境を整え、主体的・対話的な教育を進めています。	A	5	・ICT教育は年々必要性が高まるとは思いますが、SNSの適切な使い方、特に顔が見えない中での発信方法への配慮を教えてください。 ・タブレットを授業等できかに活用しているか教えてください。 ・先生方のがんばりに期待しています。 ・効果が現れてきたと思っています。
								B	2	
								C	0	
								D	0	
学地学 校域校 別を コ・目 つミ ま標 りユ ド7 クニ マテ 地す 域の 核と し携 して 協働 による	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。 ②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。 ③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。 ④PTAと連携して、部活動時間の安全確保のため、必要な時間に保護者の部活動見守りをお願いします。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3 3 2 4	4:90%以上 3:80%以上 2:60%以上 1:60%未満	2 5 0 0	①地域コミュニティの核としてお祭りや防災訓練など様々な情報を発信し、地域と学校が連携・協働した活動を行っています。 ②挨拶運動を兼ねた登下校時の見守りにより生徒は安全に登校でき、学校生活を過ごせております。ありがとうございます。 ③SNSルールについて等を保護者に学校より保護者会などでお伝えさせていただき、連携した取り組みを進めています。 ④PTA部活動見守りボランティアのおかげで生徒達は部活動の時間を有効に使っております。ありがとうございます。 保護者様、地域の皆様貝塚中学校へのご理解・ご協力ののおかげで、生徒達は楽しく学校生活を送っています。今後もよろしくお願いいたします。	A	2	・学校現場のみならず、現在の社会状況や人々の意識は、共助・互助といった「地域コミュニティ」づくりに欠かせない力やパワーに関して後ろ向き、あるいは否定的な動きが広がっている。引き続き、あきらめず地道な、丁寧な働きかけを。 ・教職員、保護者、地域の連携があって生徒も健全に過ごしていると思います。引き続きよろしくお願ひします。 ・数値は決して低くないと思いますが、満足度を高めていくことが生徒の定着にもつながると思います。 ・子ども達が落ち着いて安心して伸び伸びと生活するためには、その器が大事だと思っています。学校という器が、地域の器の中で、よりよい状態になるためにも地域の連携、地域からの支援が大事だと感じています。 ・成果評価が低く思います。生徒達の通学など見ていると充実した学校生活を送れていると感じます。
								B	5	
								C	0	
								D	0	

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。